

第61次南極観測隊にインタビュー



うじいえ ひろゆき 氏家宏之さん

・総務省関東総合通信局所属。
通信担当。

好きなものはアマチュア無線、DIY、ドライブ、乃木坂 46。

南極観測隊に参加したきっかけはなんですか？

小学生の時から始めたアマチュア無線、趣味が高じて現在では自宅に 20m 高の鉄塔を自分で建設し、ほぼ 46 年間継続してアマチュア無線を楽しんでいます。

その昔、（自分が）アマチュア無線で南極昭和基地と交信できた事があり、そこから南極に興味を持つようになりました。

大人になって総務省（当時は郵政省）に入省し、職員から南極観測隊員を派遣している事を知り、南極で無線関係の仕事ができる機会があると知って応募したのがきっかけです。

第61次隊ではどんな研究やお仕事をされるのですか？何が楽しみですか？

南極では、日本国内のように携帯電話を使用して連絡を取り合うことができないので、無線機を使用します。

その無線通信を通じて隊員の所在や車両・装備の状況、作業内容などを把握したり、隊員同士の円滑な通信が確保できない時は通信を中継するなど、隊員が円滑かつ安全に活動できるように無線局を運用し、支えるのが一つの仕事です。

また、そのために隊員個々人に配布する無線機や、昭和基地内、雪上車、野外観測拠点等に設置されている無線設備・アンテナの点検・保守や、故障時には修理も行います。



【インマルサット工事】

一言メッセージをお願いします！

無線通信は南極で活動する上で無くてはならない重要なツール、「命綱」であり、通信担当隊員は、この仕事を担う重要な役割を果たしています。

観測隊は、観測を行う隊員だけでなく、このように観測を側面から支える重要な仕事もあって円滑な観測業務が行えています。